

女性デジタル人材育成事業【広島県三原市】

総事業費	2,076 ^{千円}
交付金額	1,557 ^{千円}

地域の実情と課題

女性の就労率が男性と比較して低く、結婚や出産を機に仕事を辞めるケースがあり25歳～44歳にかけてM字カーブの形状がみられる一方で、仕事と子育ての両立の推進要望は高い。

子育て期等の女性は就労に対する時間的及び物理的な制約があることから、そうした事情を抱える女性が柔軟な働き方の選択肢を広げることができる環境が必要である。

目的・目標

主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象とした「テレワークスキルアップ講座」を開催し、オンラインで働くための基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学ぶ。

また、当該専門講師のネットワーク等により、就労の機会の提供まで一体となった支援を行う。

※主な目標：()内は実績

事業に参加した女性の就職人数23人(9人)

事業の特徴

①テレワークスキルアップ講座(全3講座)の開催

専門講師によるスキルアップ講座により、オンラインで働くための基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学ぶ

②希望者への就労機会の提供

専門講師のネットワーク等により、本講座で身に付けた知識を活かすことのできる就労機会の提供(オンラインアシスタント)を行う

連携団体

- 三原商工会議所
- 三原臨空商工会
- 三原公共職業安定所
- 広島県

事業の効果

講座参加者38人のうち、就労を希望した9人(全て)の女性が就労を実現した。

本事業のスキームは、テレワークスキルアップ講座を受講後に、希望者に対して専門講師のネットワークにより就労機会の提供を一体的に行うものであったことから、希望した全ての女性に就労機会の提供を行うことができたことは一定の成果があったものとする。

今後の課題

講座受講者が就労機会の提供を望まない理由として、「自らのPCスキルが不足しているため」、「今の生活と両立できるか不安だから」、「どんな仕事があるか分からないから」が大半を占めた。このため、座学のみにとどまらず、実際にテレワークで働いている先輩女性の話を聞いたり、質問できる体制を講座内に整えることで、受講者の不安を払拭し、就労に対して前向きになれるような支援策を検討していきたい。

◆テレワークスキルアップ講座の開催

○パワーポイント講座

(11月14日、11月21日、11月28日、12月5日)

○オンラインお仕事講座(基礎知識・エクセル・リサーチ)

(12月1日、12月8日、12月15日、12月22日)

○Instagram運用担当者養成講座

(1月16日、1月23日、1月30日、2月6日)

主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象に、専門講師による「テレワークスキルアップ講座」を開催。**【参加者数】女性38人**

オンラインで働くための基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学んだ。

また、専門講師のネットワーク等により、就労の機会の提供まで一体となった支援を行った。



案内パンフレット



講座の様子